

科目	国語科教育	対象	国語教育サブプログラム
----	-------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号					

問一

A 群、B 群の国語科の基礎内容および国語科教育に関する用語で、適当な組み合わせを五組つくり、記号で答えよ。

A 群				
あ 金田一春彦	い 大岡昇平	う 青木幹勇	え 項羽	お 菅原孝標娘
か ヴィゴツキー	き 源信	く 頼山陽	け 行阿	こ 垣内松三
さ 西行	し 源順	す 藤原道綱母	せ 村上春樹	そ 老子
た 横光利一	ち 李賀	つ 観応	て 石森延男	と 安部公房
B 群				
ア 大器晩成	イ 前衛芸術	ウ みんないい子読本	エ 補忘記	オ 新感覚派
カ 仮名文字遣	キ 蜻蛉日記	ク 披山蓋世	ケ 第三の書く	コ 国語の力
サ ノンポリ	シ 言語と思考	ス 四座講式の研究	セ 山家集	ソ 鬼才
タ 往生要集	チ 和名類聚抄	ツ 第一次戦後派	テ 日本外史	ト 更級日記

(正解)		(A 群)		(B 群)	
(あ	金田一春彦)	(い	大岡昇平)	(う	青木幹勇)
(い	大岡昇平)	(き	源信)	(く	頼山陽)
(う	青木幹勇)	(し	源順)	(す	藤原道綱母)
(え	項羽)	(ち	李賀)	(つ	観応)
(お	菅原孝標娘)	(つ	観応)	(て	石森延男)
(か	ヴィゴツキー)	(と	安部公房)	(た	横光利一)
(き	源信)	(ち	李賀)	(た	横光利一)
(く	頼山陽)	(つ	観応)	(ち	和名類聚抄)
(け	行阿)	(す	藤原道綱母)	(せ	村上春樹)
(こ	垣内松三)	(て	石森延男)	(そ	老子)
(さ	西行)	(と	安部公房)	(た	横光利一)
(し	源順)	(ち	李賀)	(つ	観応)
(す	藤原道綱母)	(つ	観応)	(て	石森延男)
(せ	村上春樹)	(と	安部公房)	(た	横光利一)
(そ	老子)	(ち	和名類聚抄)	(つ	観応)
(た	横光利一)	(つ	観応)	(て	石森延男)
(ち	李賀)	(と	安部公房)	(た	横光利一)
(つ	観応)	(す	藤原道綱母)	(せ	村上春樹)
(て	石森延男)	(そ	老子)	(た	横光利一)
(と	安部公房)	(ち	和名類聚抄)	(せ	村上春樹)

科目	国語科教育	対象	国語教育サブプログラム
----	-------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号					

問二

次の国語科の基礎内容および国語科教育に関する語句ア～トの中から五つ選び、選択した記号を記し、それぞれ百字程度で説明せよ。

ア 国字	イ 互文	ウ 芦田・友納論争	エ 栄花物語	オ 没理想論争
カ 紅楼夢	キ 学年別漢字配当表	ク 雨月物語	ケ 耽美派	コ 四つ仮名
サ 観点別評価	シ 十六夜日記	ス 内向の世代	セ テンス	ソ 王昭君
タ おくのほそ道	チ テクスト論	ツ 狂言	テ 刎頸之交	ト メディア・リテラシー

(解答例)

ア 国字

中国や朝鮮での造字法を模倣する形で、日本で新たに作り出された文字。漢字を、「中国で作られた字（漢字）」と狭義に位置付けた場合の、日本製の漢字（およびそれに準ずる文字）のこと。和製漢字とも。

イ 互文

漢文において、二つの二字熟語をそれぞれ分解して、入れ子状に配する修辞法。例えば、「天地」と「長久」をそれぞれ分解し「天長地久」という語を作るといったもの。他にも「日進月歩」、「東奔西走」など、現代日本語にしばしば見られるものもある。漢詩では、平仄の制限上このような修辭を用いられることが多い。

ウ 芦田・友納論争

芦田恵之助と友納友次郎による綴り方の教授法をめぐる論争のこと。書き手の自主性を重んじる随意選題の綴り方教授法を提唱する芦田に対して、友納は系統的な指導の必要から練習目的論に立つ綴り方教授法を提唱した。

エ 栄花物語

平安時代後半成立の歴史物語。宇多天皇から堀河天皇までの約二百年の歴史を年次に沿って記す。赤染衛門作者説もある。藤原道長の生涯を『源氏物語』の光源氏になぞらえながら、その栄華獲得の要因を後見の問題と絡めて描き出すところに、同じ道長を中心とした歴史物語『大鏡』とは異なる独自の歴史観がある。

オ 没理想論争

明治二十年代、坪内逍遙と森鷗外との間で行われた文学論争。『早稲田文学』と『しからみ草紙』を主舞台に展開された。『没理想』とは、理想や主観を直接表さず、事象を客観的に描く、あるいはそのような態度で描かれた作品の特質をいう。逍遙がシェークスピアの作品をどのように規定し、文学の没理想性と記述による帰納的批評を説いたのに対し、鷗外は価値判断の基準の重要性と美の理想を主張した。

カ 紅楼夢

清代の長編小説。曹雪芹の作。全百二十回から成るが、後四十回は別人の続作とされる。「石頭記」「金陵十二釵」などの別名が多数存在する。貴族社会の豪華な生活を背景に、貴公子と美女たちの恋愛を艶麗に描いたもの。中国四大奇書に数えられることもある。『源氏物語』と比較されることも多い。

令和七年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

科目	国語科教育
対象	国語教育サブプログラム

試験区分				
一般選抜	現職教員選抜	派遣教員選抜	外国人留学生等選抜	特別選抜
○	○	×	○	×

受験番号					

キ 学年別漢字配当表

小学校で学習する漢字一〇二六字について、それぞれ何年生で扱うかを示した表のこと。平成二十九年版の学習指導要領では、「茨」「媛」など都道府県名に用いる漢字が新たに二十字加わるとともに、学年ごとの配当漢字の移行も行われた。

ク 雨月物語

上田秋成著の怪異短編小説集。読本。安永五年（一七七六）刊。中国伝奇小説や日本の古典文学の文体と世界を利用し、幻想的な作品世界を構築する。怪異をとおして人間の執念や性（さが）を克明に描き出しており、日本の怪異小説の代表作とされる。「白峯」「菊花の約」「浅茅が宿」「夢応の鯉魚」「仏法僧」「吉備津の釜」「蛇性の姪」「青頭巾」「貧富論」の話からなる。

ケ 耽美派

明治末く大正期に勢力をもった文芸思潮。自然主義文学の現実志向に対し、美に最高の価値をおく。文体の華麗さや虚構性・感覚重視などが特徴。ボードレール、ワイルドなどの西欧世紀末思潮を背景に、官能性の偏愛やデカダンスへの傾斜をみせる。森鴎外・上田敏を理論的支柱とし、「三田文学」による永井荷風や、パンの会の木下杢太郎・北原白秋などが広範なジャンルにわたって活躍した。谷崎潤一郎も代表作家。

コ 四つ仮名

「ジ」と「ヂ」、「ズ」と「ヅ」の四つの仮名、および、それらで表される音節のこと。室町中期頃までは、これらの仮名で別々の音が表し分けられていたが、口頭語では、江戸時代初期までに音韻上の別が失われる。そのため、仮名遣いの規範として加えられ、これらの書き分けが知識として求められ、学ばれるようになる。

サ 観点別評価

学習指導要領で示された教育目標や内容に照らして、児童・生徒の学習状況を評価するもの。小・中・高ともに「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で、目標に準拠した評価を行う。

シ 十六夜日記

藤原為家の晩年の妻、阿仏尼の著。紀行文学。弘安二年（一二七九）十月十六日に出家し、東海道を下り、同月二十九日に鎌倉に到着するまでの旅日記と、翌年秋までの鎌倉滞在記から成る。夫の死後、先妻の子とわが子との間に起きた相続問題を鎌倉幕府に訴訟して解決するための旅であった。京に残した子供たちや亡夫、都への思いや、道中の風物への興味を和歌に詠みながら旅をする。滞在記では知人との和歌の贈答や添削などを行い旅中の心を慰めることなどが記される。

ス 内向の世代

一九七〇（昭和四十五）年前後に登場してきた一群の文学者たちを小田切秀雄が「自我と個人的な状況のなかにだけ自己の作品の手ごたえを求めようとしており、脱イデオロギーの内向的な文学世代」と評したことによる。古井由吉、阿部昭、黒井千次、小川国夫、坂上弘、後藤明生らの小説家、川村二郎、秋山駿らの批評家を指す。「戦後派」の小田切は「内向の世代」の語に、その閉鎖性への批判を込めていた。しかし、社会全体が非イデオロギー化していくに従い、内面に沈潜することで外部の現実を浮き立たせ、浮遊する生の不確かさを描くその表現方法は、むしろ時代を誠実に映すものであるといえるだろう。今では、「内向の世代」はこの文学者たちの傾向を言い当てている語として、価値判断抜きに用いられている。

科目	国語科教育
対象	国語教育サブプログラム

試験区分				
一般選抜	現職教員選抜	派遣教員選抜	外国人留学生等選抜	特別選抜
○	○	×	○	×

受験番号					

セ テンス

出来事がいつ生じたのか、動詞の形態的対立によって時間関係を位置付ける文法的カテゴリーの一つ。動詞の形態的差異がテンスの区分を示さない言語もあるが、日本語は「タ形」で過去を、基本形（「ル形」）で、現在・未来を表し得るとする。時制ともいう。

ソ 王昭君

中国四大美女の一人に数えられる前漢の元帝の宮女。匈奴が和親のために、漢の王女との婚姻を求めてきた際に差し出され、望郷と悲憤に暮れながら、異郷の地に没した。画工に肖像画を醜く描かれたため、選ばれて匈奴に送られたとする逸話もある（『西京雜記』）。後に王昭君をテーマとした文学作品が多く作られ、李白や白居易の詩、元の馬致遠の戯曲『漢宮秋』等がよく知られる。『和漢朗詠集』にも取り立てて部立てが存在する。

タ おくのほそ道

松尾芭蕉著の紀行文・俳文。元禄二年（一六八九）に江戸深川を出立し、北関東・東北・北陸を旅した体験に基づき、没年の元禄七年まで推敲を重ねて成立した。旅で出会った自然や人間との関わりや、過去の古典文学の世界に思いをめぐらせ、人間とは何かを探求した。発句を自立性の高い文芸へと高からしめ、蕉風俳諧と称される新たな芸術的世界を構築した。

チ テキスト論

フランス構造主義において、テキスト分析は二つの水準でなされた。第一は言語学的水準での音韻や文法の分析である。詩的テキストの脚韻と文法範疇（はんちゅう）の密接な関係を論じたヤコブソンやレビ・ストロース、物語の語り手や時間の構造を、人称、話法、時制などの文法的観点から解明したジュネットらをあげることができる。第二はテキストの全体的構成の水準での分析である。バルト、トドロフ、ブレモン、グレマスらは、登場人物の行為を基本単位とみなし、その組合せによって物語が構成されると考えた。またクリステバは詩的言語の意味形成をテキストの深層構造の仕組みによって究明しようとした。後期バルトやクリステバにおいてテキストは、完結した構造としての「作品」と対置され、同時代や他の時代の作品へと無限に開かれたものとされる。それゆえ、バルトは読解の多様性を、クリステバはさまざまなテキストの相互関連のなかで形成される意味創造の無限性を強調している。

ツ 狂言

室町時代に発達した台詞劇。能と共に生じ、現在も同じ舞台で演じられることが多いが、能は悲劇や幽玄味を、狂言は喜劇を主なテーマとする。江戸時代には、大蔵流、和泉流、鷺流の三流が出揃い、明治時代に鷺流が亡びる。室町末から江戸時代の日本語の研究資料としても注目される。

テ 刎頸之交

お互いになら首をはねられてもかわまないというほどの強い友情を表す故事成語。出典は『史記』廉頗藺相如伝。廉頗は戦国時代、趙の將軍。藺相如は趙の名臣。廉頗は、藺相如が国家の命運を想って自分と争わないことを知り、心服して藺相如と深い交際を結んだ。後の漢楚抗争では、陳余と張耳が刎頸の交わりを結んだが、その友情は破綻した。

ト メディア・リテラシー

メディアが形作る「現実」の情報を受信し、文字情報、音声情報、映像情報をマルチモデルに捉え批判的に読み解き、自らの表現に活用し発信する能力のこと。平成二十九年版国語科学学習指導要領では「知識及び技能（2）情報の扱い方に関する事項」で、情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことが求められている。

科目	国語科教育	対象	国語教育サブプログラム
----	-------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号					

問三

平成二十九年年度版の学習指導要領では、指導計画作成上の配慮事項の中で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善として、学びの深まりの鍵となる「見方・考え方」を、「探究的な学習」によって、より質の高い深い学びにつなげることを求めている。（注）あなたは、国語科でどのような探究的な授業を作り、「主体的・対話的で深い学び」を実現していきたいか、小・中・高のいずれかの校種を選び、具体的に論じよ。（解答欄は次ページ）

注 「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項
○主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業改善に関する配慮事項」
『中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説国語編』 平成二十九年七月

（解答のポイント）
小・中・高の別を明確にしたうえで、「主体的・対話的で深い学び」を目指す国語科の探究的な授業をデザインし、具体的に述べているか。
探究的な学習を、国語科における「言葉による見方・考え方」を働かせ、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題に関連させ、自己の生き方を問い続けるものとしてとらえているか。